

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 田谷

コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田谷 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長 (氏名) 田代 久士

TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,240	△3.4	△163	—	△159	—	△223	—
21年3月期第2四半期	6,463	—	132	—	134	—	75	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△44.25	—
21年3月期第2四半期	14.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	8,319		4,510		54.2		891.81	
21年3月期	8,772		4,845		55.2		958.07	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,510百万円 21年3月期 4,845百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	12,640	△2.8	△229	—	△233	—	△324	—	△64.09	

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,100,000株	21年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	42,771株	21年3月期	42,731株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	5,057,230株	21年3月期第2四半期	5,057,439株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年5月8日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年10月20日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整が一段落し、昨年秋以降の急速な景気の悪化に底打ちの兆しがあるとの見方もありますが、急激な円高の進行などを背景とした企業業績の悪化、設備投資の見直し、雇用情勢・所得環境の低迷など実態経済は依然として厳しい状況が続いております。

美容業界におきましても、所得減少や雇用への先行き不安感から消費者の節約・儉約志向が進行し、引き続き経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、「約束」を今年のテーマとし、美容師として髪のプロとして、お客様一人ひとりのニーズに応え満足していただけることを「お約束」し、お客様の信頼を獲得し積み上げることにより、業績の回復に努めてまいりました。また、若い美容師の早期育成を図る為の特別教育プログラム「TAYAアカデミー」も今年4月に開講するなど、技術・接客の向上に向けた社員教育に取り組んでまいりました。

店舗といたしましては、美容室4店舗（TAYA麴町店、TAYA天神店、Shampoo綱島店、TAYA二子玉川店）の新規出店を行い、一方で近隣店舗への統合の為、美容室4店舗（TAYA blue label イオン熱田SC店、TAYA天神コア店、TAYA博多リバレイン店、Shampoo岐阜リバーサイドモール店）を閉鎖し、スクラップ&ビルドによる収益基盤の強化も図ってまいりました。第2四半期累計期間末の美容室数は、144店舗と前期末と同数であります。

しかしながら、個人の消費マインドの冷え込みは依然として厳しく、来店周期の伸びや新規客の減少による入客数の減少（既存店ベースで前年同期比2.0%減）や、注文施術の減少等による客単価の低下（既存店ベースで前年同期比2.0%減）により、売上高も既存店ベースで前年同期比4.0%減となりました。

以上の結果、当社の第2四半期累計期間の業績は、売上高6,240百万円（前年同期比3.4%減）となり、美容師確保による人件費の増加もあり、営業損失163百万円（前年同期は営業利益132百万円）、経常損失159百万円（前年同期は経常利益134百万円）となり、また、創業者の取締役退任に伴う退職慰労金50百万円や減損損失30百万円等を特別損失に計上し、四半期純損失は223百万円（前年同期は純利益75百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は8,319百万円となり、前事業年度末と比べて452百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,184百万円となり、前事業年度末と比べて442百万円減少いたしました。固定資産の残高は6,135百万円となり、前事業年度末と比べて9百万円減少いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少510百万円、売掛金の減少75百万円であります。

当第2四半期末の負債総額は3,809百万円となり、前事業年度末と比べて117百万円減少いたしました。

流動負債の残高は2,370百万円となり、前事業年度末と比べて139百万円減少いたしました。固定負債の残高は1,438百万円となり、前事業年度末と比べて22百万円増加いたしました。主な増加は、支払手形の増加30百万円、短期借入金の増加145百万円、長期借入金の増加50百万円、主な減少は、一年以内償還社債の減少90百万円、配当金、役員退職慰労金その他経費等の支払による未払金の減少91百万円、税金の支払いによる未払法人税等の減少136百万円であります。

当第2四半期末の純資産は4,510百万円となり、前事業年度末335百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は前事業年度末55.2%から54.2%に減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ525百万円減少し、891百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果支出した資金は149百万円（前年同期は262百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前四半期純損失283百万円に対して、減価償却費121百万円、売上債権の減少額75百万円、減損損失30百万円、仕入債務の増加額26百万円、固定資産除却損23百万円があったものの法人税の支払額164百万円があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は316百万円（前年同期は269百万円の使用）となりました。

これは主に、新規出店にともなう有形固定資産の取得267百万円、敷金及び保証金の純増27百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は59百万円（前年同期は296百万円の使用）となりました。

これは主に、長短借入金の純増167百万円（前年同期は90百万円の純減）と配当金の支払額110百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

国内景気の先行き不透明感の中、消費スタイルは引き続き生活防衛型が進行し、個人消費の回復には相当な時間がかかるものと予測されます。当社といたしましては、お客様に喜ばれるサービスやメニューの提供に努める一方経営の効率化を図ってまいりますが、上半期の売上減少による通期影響に加え、依然と厳しさが続く個人消費の冷え込みも考慮し、業績予想の見直しを図り、平成21年10月20日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。これによる通期の業績見通しは、売上高12,640百万円（前期比2.8%減）、営業損失229百万円（前期は営業利益292百万円）、経常損失233百万円（前期は経常利益297百万円）、当期純損失324百万円（前期は当期純利益198百万円）となる見込みであります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はございません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,202,405	1,712,841
売掛金	463,835	539,254
商品	43,857	43,110
美容材料	34,126	36,992
その他	441,703	296,620
貸倒引当金	△1,295	△1,528
流動資産合計	2,184,633	2,627,292
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,914,871	1,936,081
土地	1,377,828	1,377,828
その他(純額)	91,207	84,213
有形固定資産合計	3,383,907	3,398,124
無形固定資産	46,916	31,941
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,163,792	2,166,628
その他	552,148	559,972
貸倒引当金	△11,724	△11,733
投資その他の資産合計	2,704,217	2,714,867
固定資産合計	6,135,041	6,144,933
資産合計	8,319,674	8,772,225
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,536	432,172
短期借入金	284,800	139,700
1年内返済予定の長期借入金	371,760	400,492
1年内償還予定の社債	40,000	130,000
未払費用	539,781	518,785
未払法人税等	56,704	193,202
賞与引当金	211,589	222,450
その他	407,417	473,400
流動負債合計	2,370,589	2,510,202
固定負債		
長期借入金	864,083	813,377
退職給付引当金	312,282	299,801
その他	262,608	303,645
固定負債合計	1,438,973	1,416,824
負債合計	3,809,563	3,927,027

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,446,259	1,781,316
自己株式	△118,572	△118,543
株主資本合計	4,510,111	4,845,198
純資産合計	4,510,111	4,845,198
負債純資産合計	8,319,674	8,772,225

(2) 四半期損益計算書
 (第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,463,346	6,240,842
売上原価	5,561,736	5,618,464
売上総利益	901,610	622,377
販売費及び一般管理費	769,603	785,845
営業利益又は営業損失(△)	132,006	△163,468
営業外収益		
受取利息	3,252	2,508
不動産賃貸料	7,269	7,127
その他	17,954	18,706
営業外収益合計	28,476	28,342
営業外費用		
支払利息	15,455	17,499
不動産賃貸費用	4,674	4,242
その他	5,813	2,543
営業外費用合計	25,942	24,286
経常利益又は経常損失(△)	134,539	△159,411
特別利益		
退店補償金	82,909	—
受取保険金	7,805	—
会員権償還益	—	3,755
貸倒引当金戻入額	470	242
特別利益合計	91,184	3,997
特別損失		
固定資産除却損	29,681	47,198
減損損失	7,759	30,905
役員退職慰労金	—	50,000
その他	1,986	—
特別損失合計	39,427	128,103
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	186,296	△283,518
法人税、住民税及び事業税	116,816	29,834
法人税等調整額	△6,230	△89,555
法人税等合計	110,585	△59,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,711	△223,797

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	186,296	△283,518
減価償却費	110,744	121,688
減損損失	7,759	30,905
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,514	△10,860
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,067	12,480
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△470	△242
受取利息	△3,252	△2,508
支払利息	15,455	17,499
固定資産除却損	29,681	23,473
退店補償金	△82,909	—
受取保険金	△7,805	—
会員権償還益	—	△3,755
役員退職慰労金	—	50,000
売上債権の増減額 (△は増加)	80,395	75,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,168	9,240
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,081	26,364
その他	△91,474	12,937
小計	314,916	79,123
利息の受取額	2,534	3,593
利息の支払額	△15,590	△17,925
退店補償金の受取額	82,909	—
保険金の受取額	42,673	—
役員退職慰労金の支払額	—	△50,000
法人税等の支払額	△165,037	△164,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,405	△149,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△654,868	△570,869
定期預金の払戻による収入	486,957	555,980
有形固定資産の取得による支出	△91,729	△267,779
敷金及び保証金の差入による支出	△51,739	△43,820
敷金及び保証金の回収による収入	47,698	15,903
会員権の償還による収入	—	3,800
その他	△5,695	△9,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269,376	△316,340

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	507,000
短期借入金の返済による支出	△356,900	△361,900
長期借入れによる収入	96,000	235,000
長期借入金の返済による支出	△179,404	△213,026
長期未払金の返済による支出	△3,796	△15,872
リース債務の返済による支出	△1,334	△10,210
社債の償還による支出	△90,000	△90,000
自己株式の取得による支出	—	△29
配当金の支払額	△110,594	△110,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,028	△59,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△303,000	△525,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,190,095	1,416,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	887,095	891,447

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。